

私たちのまちのこんなことが知りたいよねー

留萌市の財政や政策についてもっと知りたいこともあるという市民の方の疑問の声に応えるため“こんなことが知りたいよねー”企画をお届けしています。

その7



●るもい健康の駅で、「目」の健康状態を医師がアドバイスする健康サービスを行っているとお聞きしましたが、どのようなものでしょうか。いつでも受けられるのでしょうか。また、このような取り組みにどれくらいの予算がかけられているのでしょうか。教えてください。



知りたいねー子さん
(市民代表)



おしえたる男さん
(コホートピア推進室次長)



●るもい健康の駅では、旭川医科大学と連携、協力し「ウェルネットリンク(WNL)」というインターネット上で健康管理・支援を行うサービスを使って、医大の眼科医による目の眼底遠隔健康アドバイスサービスを行っています。まず、「るもい健康の駅」に設置された眼底カメラで眼底画像を撮影していただきます。



その画像を旭川医大が開発したネット上で健康情報などを管理するウェルネットリンクを使って送信。その情報を同大の眼科医が閲覧して、遠隔健康アドバイスをを行います。

旭川医大の協力により、失明の上位を占める緑内障や糖尿病網膜症、黄斑変性など、自覚症状が出ている前の段階で異変に気づき、適切に医療機関へ誘導できます。

●眼底カメラ撮影日は、毎週水曜日(事前予約が必要です)。前週の火～金曜日までに、健康の駅に来館し、申し込んでください。また、希望者は無料の「ウェルネットリンク(WNL)」会員登録が必要です。↗

↘申し込みされた翌週の水曜日に、眼底写真を撮影いたします。対象は留萌市民のみとなります。

●アドバイスは、撮影翌週には自宅のパソコンや携帯電話から閲覧が可能です。自宅にパソコンがない人や操作方法が分からない場合は、るもい健康の駅でも閲覧できます。



●このサービスは、本年度に国のICT(情報通信技術)を使ったモデル事業として採択された取組の1つで、眼底サービスのほか、①保健師や運動指導士からのインターネットでの健康指導、②在宅患者と市立病院、旭川医大間で専用のテレビ電話端末を使った、健康データのチェックや遠隔医療指導サービスの実施なども含めて約5千8百万円、全額国の予算を使って実施しています。

本モデル事業の結果を踏まえ、ICTを使ったサービスの普及を目指し、旭川医大をはじめ関係機関と協力、連携しながら来年度以降の事業の継続について検討していきたいと考えています。

知りたいことがある方は、議会事務局内(議会広報特別委員会・42-1907番)で受付いたします。

議会です こんにちは

もくじ

- P 12 平成22年第4回定例会議決事項
- P 13 こんなことが知りたいQ & A
「眼底遠隔健康支援サービス」
- P 14 第1常任委員会の動き
- P 15 第2常任委員会の動き
- P 16 衛生センター組合議会
- P 17 林活議連の活動
- P 18 第4回定例会一般質問項目
- P 19 消防出初式、言葉の意味

平成22年第4回定例会(12月7日から12月15日)で可決されました議案14件、否決されました議案1件、可決された意見書案6件の内容を紹介いたします。

議 案

- 市道路線の廃止及び認定について
- 平成22年度留萌市一般会計補正予算(第4号)
- 損害賠償の額の決定について
- 平成22年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度留萌市港湾事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度留萌市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度留萌市病院事業会計補正予算(第1号)
- 留萌市奨学基金条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市立小中学校設置条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市立三泊小学校を閉校(3月末)するため、条例の一部を改正。
- 留萌市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 留萌市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 留萌市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 留萌市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について(否決)

意見書案

- 政府のEPA基本方針策定に関する意見書
- 政府のEPA基本方針に関する意見書
- 公契約で働く人の「ディーセント・ワーク」を実現し、経済成長につなげる「公契約基本法」の制定を求める意見書
- ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書
- 切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書
- 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

<三泊小学校の歴史>

- | | |
|------------|------------------------------|
| 明治17年6月13日 | 三泊小学校創立 |
| 27年10月 | 校舎新築移転 |
| 28年4月 | 公立三泊尋常小学校と改称 |
| 大正5年5月 | 臼谷に特別教授場設置 |
| 13年8月10日 | 現在地に校舎新築移転 |
| 昭和9年6月13日 | 開校50周年記念式典挙行 |
| 16年4月16日 | 留萌郡三泊国民学校と改称 |
| 22年4月1日 | 留萌市立三泊小学校と改称 |
| 59年7月1日 | 開校100周年記念式典挙行 |
| 平成14年4月10日 | 第51回全道へき地複式教育研究大会留萌大会(集合授業校) |
| 16年10月30日 | 開校120周年記念集会 |
| 22年3月4日 | 閉校事業実行委員会設立総会 |
| 23年3月5日 | 閉校式 |



常任委員会の動き

「第2常任委員会」(くらし・健康づくり委員会)

第2常任委員会

《平成22年11月4日開催》

＜政策経営室からの報告事項＞

○財政健全化計画に基づく平成21年度の健全化効果額について

○公債費負担適正化計画の概要について

【市民生活部】

○平成22年第5回国民健康保険運営協議会の開催結果について

○留萌市地域公共交通総合連携計画における平成22年度実証運行について

【市立病院】

○平成22年度の経営状況について
(上半期・4～9月を終えて)

○平成21年度・22年度 病院事業会計収支見込み

○平成22年度患者集計表

《平成22年11月25日開催》 報告及び審議事項

【市立病院】

○平成22年度留萌市病院事業会計補正予算

○平成22年度患者集計表

【市民生活部】

○平成22年度留萌市補正予算(案)について

・一般会計・国民健康保険事業特別会計

・下水道事業特別会計

○留萌市手数料条例の一部を改正する条例制定について

○平成22年第6回国民健康保険運営協議会の開催結果について

○留萌南部衛生組合一般廃棄物最終処分場建設工事について

一般廃棄物最終処分場評価委員会は、平成22年6月21日に公告された「留萌南部衛生組合一般廃棄物最終処分場建設工事」の総合評価一般競争入札に係る事業者提案について審査を行い報告。

【審査結果】

最優秀提案について、大成・堀松・北都特定建設工事共同企業体を選定した。

〔建設場所〕 増毛郡増毛町御料1550番1外

〔建設費〕 22億4700万円

〔工期〕 契約日から平成25年3月31日(予定)

〔施設概要〕 敷地面積 約11ha

埋立面積 16,920㎡

(47m×90m×4区画)

埋立容量 102,000㎡

【健康福祉部】

○平成22年度補正予算(案)について

○平成22年度子ども手当・児童扶養手当支給状況について

[児童扶養手当]

1. 制度の概要

ひとり親家庭の児童(18歳到達の最初の3月31日(障害がある場合は20歳到達)までの間にある者)のために、市から支給される手当で、所得による制限などがある。なお、平成22年8月から父子家庭も該当になるようになった。

2. 手当の額

手当では、基本の額と所得に応じてそれに対する支給停止額から決定される。

基本額 児童が1人→月額41,720円

児童が2人→月額46,720円

児童が3人→月額49,720円

※以後1人につき月額3,000円追加

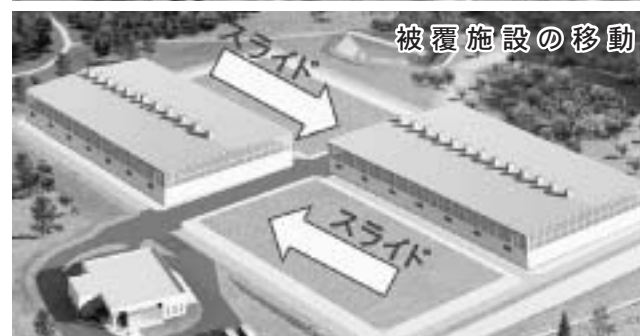
3. 児童扶養手当需給資格者 306世帯

(支給月:4月、8月、12月)

○フッ化物洗口による歯・口腔の健康づくりについて

・平成19年度の3歳児歯科検診におけるむし歯罹患率は留萌市では29.2%、全道平均では27.4%となっており、大きな差異はない。しかしながら、平成20年度公立学校児童生徒等定期健康診断における留萌市の12歳児のむし歯本数は1人あたり5本を超え、全道最低ランクに位置している。このため、この幼児・児童期における歯の健康づくりが重要な課題となっています。

留萌南部衛生組合一般廃棄物最終処分場建設工事計画図



常任委員会の動き

「第1常任委員会」(人・まちづくり委員会)

第1常任委員会

《平成22年11月1日開催》 給食センター視察



《平成22年11月24日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

○留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例等の制定について

【政策経営室】

○平成23年度市政執行の重点について

11月1日庁議を開催し、下記事項の通り「市政運営の基本理念」「市政執行における重点的取り組み」について決定しました。

I. 市政運営の基本理念について

1. 市民との「対話」の重視であります。

2. 市民との「協働」の推進であります。

3. 市民に「期待」される市政であります。

II. 市政執行における重点的取り組みについて

平成23年度も財政健全化計画、市立病院改革プランの進捗状況に配慮しながら第5次総合計画の前期計画最終年として着実な推進を図り、市民の皆さんとあらゆる分野において「新・協働時代」をテーマに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちの笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指した4つの重点的な取り組みを進める。

『経済の活性化について』

[地域経済の活性化と雇用の確保について]

●国や道の施策を積極的に活用した、地域経済の活性化と雇用の確保

[農水産物や加工食品の付加価値化について]

[中心市街地の活性化について]

●留萌プラザを引き続き市民が集い楽しむ場として運営し、商店街の取組みと連携を図り、賑わいあふれる商店街づくり

『健康で笑顔あふれるまちづくり』

[市民の健康づくりの推進について]

●市民誰もが健康でいきいきとして社会生活を送

れる医療、介護、福祉の充実

[健康産業の創出に向けて]

●北海道との連携による、健康産業の創出

[市民に信頼される市立病院に向けて]

●市民の生命と健康を守るため、良質で適正な医療の提供

●救急、小児、周産期の地域に必要な医療の確保

『子どもたちの夢と可能性が育つまちづくり』

[子育て支援について]

●健やかに子どもと親が育つまちづくりを目指すため、子どもや子育て家庭への支援

[豊かな心を育む教育について]

[子どもたちの健やかな体を育てる取組について]

●遊びを通して身体能力を高めながら、親子の愛情と信頼の絆を育むまちづくり

『安心安全なまちづくり』

[地域力を高める取組について]

[都市機能の充実について]

●道路整備や橋梁の補修改善、老朽化した市営住宅の改良事業などの社会基盤の整備

●次期道路整備5カ年計画、公営住宅・橋梁・公園の長寿命化計画の策定

[防災体制の構築について]

●「協働」による町内会組織と連携した体制づくり

○市政懇談会「留萌百年物語」開催結果について

○「平成22年度市民アンケート-市政懇談会-」について

○ふるさと応援交流事業「メールマガジン」について

○平成22年度補正予算説明資料について

○「広報るもい」の債務負担行為について

【産業建設部】

○平成22年度除雪計画について

○見晴通「沿線住民意識調査」結果について

○平成22年度12月補正予算について

○物損事故による損害賠償の額の決定について

○留萌市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について

【教育委員会】

○全道ネットトラブル根絶！メッセージコンクールでの北海道知事賞受賞について

○平成22年度留萌市PTA連合会研究大会について

○平成22年度教育に関する事務及び執行の状況の点検・評価報告書について

○第56回留萌市読書感想文コンクールについて

○平成22年度12月補正関係

学校施設におけるアスベスト調査経費の補正について

○留萌市奨学基金条例の一部改正について

○留萌市立小中学校設置条例の一部改正について

＜留萌市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟の活動報告＞

平成22年度道北林活議連「政策研究会」が平成22年11月11日、旭川トーヨーホテルで開催され、珍田亮子会長と幹事の坂本茂議員が出席しました。研究会では、林野庁森林整備部計画課首席森林計画官の小島孝文氏による『森林・林業再生プラン』についての講演がありました。

平成22年11月26日には、札幌市において「森林・林業再生プラン研修会」が開催され、珍田亮子会長が出席。森林・林業基本政策検討委員会の最終とりまとめ「森林・林業の再生に向けた改革の姿」の骨子について研修しました。

森林・林業再生プランの概要

I. 新たな森林・林業政策の基本的な考え方

1. 基本認識

森林所有者の林業への関心は低下。

森林の適正な管理に支障を来すことも危惧される状況。一方、世界的な木材需要の増加、低炭素社会づくりの動きなどを背景に、木材利用の拡大に対する期待は高まる。こうした中、

今後10年間を目途に我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針を作成。

2. 3つの基本理念

以下の3つの基本理念の下、木材などの森林資源を最大限活用し、雇用・環境にも貢献するよう、我が国の社会構造をコンクリート社会から木の社会へ転換。

理念1：森林の有する多面的機能の持続的発揮

理念2：林業・木材産業の地域資源創造型産業への再生

理念3：木材利用・エネルギー利用拡大による森林・林業の低炭素社会への貢献

II. 目指すべき姿

10年後の木材自給率50%以上

III. 検討事項

1. 林業経営・技術の高度化

- (1) 路鋼・作業システム
- (2) 日本型フォレスター制度の創設・技術者等育成体制の整備
- (3) 森林組合改革・民間事業者サポート

2. 森林資源の活用

- (1) 国産材の加工・流通構造
- (2) 木材利用の拡大

3. 制度面での改革、予算

- (1) 森林情報の整備、森林計画制度の見直し、経営の集中化
- (2) 伐採・更新のルール整備
- (3) 木材利用の拡大に向けた制度等の検討
- (4) 国有林の技術力を活かしたセーフティネット
- (5) 補助金・予算の見直し

IV. 推進体制

- ・森林・林業再生プラン推進本部（本部長：農林水産大臣）
- ・検討委員会（外部の有識者なども含めた推進本部の下の委員会）

V. 主体別の果たす役割について

国、地方自治体、森林組合・林業事業者・森林所有者が、森林・林業基本法に示されたそれぞれの役割を確認し、相互に連携して取組。



＜留萌南部衛生組合議会＞

組合議会議員

組合加入の市町の長及び1市2町の議会において選任された議員で構成されてます。

- 留萌市 4名 菅原千鶴子議長（市議会選任）
 天谷孝行議員（市議会選任）
 小野敏雄議員（市議会選任）
 麻林敏弘議員（留萌市指定）
- 増毛町 3名、小平町 3名 計 10名

執行機関

- 組合長 高橋定敏（留萌市長）
 副組合長 中西俊司（留萌市副市長）

組合を組織する地方公共団体（1市2町）

留萌市、増毛町、小平町

組合の共同処理する事務

- し尿処理場の設置及び維持管理に関する事務（留萌市、増毛町、小平町）
- 火葬場施設の設置及び維持管理に関する事務（留萌市、小平町）
- 一般廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する事務（留萌市、増毛町、小平町）

平成22年の議会の流れ

- 平成22年第1回定例会（3月1日開催）
- 平成22年第1回臨時会（3月29日開催）
- 平成22年第2回定例会（8月30日開催）
- 平成22年第2回臨時会（6月21日開催）
- 平成22年第3回臨時会（11月15日開催）

| 議 件 名 | 結 果 | 提 案 理 由 の 説 明 |
|---------------|-----|---|
| 工事請負契約の締結について | 可決 | 留萌南部衛生組合議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定による留萌南部衛生組合一般廃棄物最終処分場建設工事の請負契約を締結するため 建設場所については、増毛郡増毛町御料1550番1外で、埋立容量は102,000m ³ 。契約の方法は総合評価一般競争入札で、平成22年6月21日に参加企業より技術提案を受け、学識経験者と構成市町の職員で構成する評価委員会における審査を経て、決定。11月4日に落札者の公表をし、11月8日に仮契約を締結いたしました。契約金額は、22億4千7百万円。契約の相手方は、大成・堀松・北都特定建設工事共同企業体で、代表者は札幌市中央区南1条西1丁目4番地、大成建設株式会社札幌支店、支店長藤田正人。本工事の工期は、平成25年3月31日までとする。 |

建設場所計画地（増毛郡増毛町御料1550番1外）



平成22年第4回定例会 一般質問の項目のめ 紹介いたします

天谷 孝行 議員
(留萌公明党)

1 新・留萌市財政健全化計画について

- (1)平成21年度の実施と効果
- (2)最重要期間(H21～H23)の推進
- (3)公債費負担適正化計画の策定

2 「市立病院改革プラン」の現状と見直しについて

- (1)平成22年度患者動向と病床利用率
- (2)DPC（包括評価）導入と効果
- (3)平成22年度決算見込みと収支均衡
- (4)医師確保の現状と今後の対策

3 女性と子供の命を守るワクチン接種の公費助成

- (1)子宮頸がんワクチン接種
- (2)乳幼児ヒブ肺炎球菌ワクチン接種
- (3)女性のがん検診無料クーポン事業



坂本 茂 議員
(共産党)

1 新・留萌市財政健全化計画について

- (1)休止中の市民サービス・人件費削減の早期回復について
- (2)市立病院の病床ベットの活用について
- (3)医療制度改正に伴う減収分の補填を国に求めることについて

2 T P P問題と生産者米価下落について

- (1)現状でT P Pに参加した場合の留萌市における影響
- (2)今年産米の生産者米価下落の現状と対策について

3 国民健康保険について

- (1)「特定健康診査」の促進と充実について
- (2)医療費抑制の努力と国保税について

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

1 留萌市都市計画マスタープランと都市計画道路

- (1)道路整備と将来のまちづくり
- 引き続き、公民館内で永年勤続表彰式が行われ、団員約100人に表彰状が贈られました。
- 高橋市長は「留萌消防組合は昭和49年4月に広域防災体制の強化を図るため、留萌市と小平町間に設立され、本年度で36年の歴史を刻んできた。自らの地域は自ら守るという郷土愛護の精神に基づいた地域防災の要として役割を果たしていただきたい」と式辞を述べました。



留萌消防組合 平成23年出初式

平成23年新春、留萌消防組合の出初式が7日、市中央公民館で行われ、消防団員、消防職員らと災禍のない平穏無事な一年を祈り、防災体制の強化に努めることを確認しました。

吹雪き模様の中、行われた観閲行進は、小原寿政消防長を先頭に組合管理者の高橋定敏市長、市議会議員ら約20人が参加しました。



留萌消防組合議会の村上均議長は「消防団・団員の皆様方に日頃から地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜、献身的にご活躍をいただき深く敬意を表しています。自然

- (2)歩行者に優しい道づくり
- (3)留萌市都市計画マスタープランの変更
- (4)にぎわい維持の具体的政策
- (5)将来都市構造の見直し

2 看護師確保の戦略的取り組み

- (1)看護師の充足率
- (2)看護職員確保に関する意識調査（売り手側が望むこと）
- (3)戦略的な人材確保
- (4)るもい市ナース育成プランの策定

笹本 牧司 議員
(萌政会)

1 市政運営について

- (1)新・留萌市財政健全化計画の現状と今後について
- (2)留萌市の経済情勢とその対応について
- (3)駐屯地存続の取り組みについて

2 市立病院の運営

- (1)泌尿器科の診療体制について
- (2)診療待ち時間の短縮について

3 協働のまちづくり

- (1)現状認識について
- (2)協働社会の問題点とその対策
- (3)町内会協働推進委員会の

- 意見書について
- 4 留萌市の防災
- (1)地域防災計画の整備
- (2)防災訓練
- (3)自主防災組織

1 「全国学力テスト」について

- (1)抽出方式について
- (2)課題と改善策
- (3)情報開示について

2 学校給食における食育について

- (1)理念と目標
- (2)地場産物の利用率
- (3)民間委託について

3 庁舎内ITの将来像

- (1)ITネットワークと広域連携業務
- (2)ITシステムの現状
- (3)セキュリティの確保

4 道営住宅建設について

- (1)整備目的
- (2)建設の条件と市の負担
- (3)交流人口の拡大について

5 大会等の効果と今後の振興策

- (1)大会等の効果と今後の振興策

坂本 守正 議員
(民主・市民連合)

1 季節労働者の生活と雇用安定の取り組みについて

- (1)道の季節労働者対策に関する取組方針Ⅲ(案)の対応について



この言葉の意味は？

最近気になる行政用語の解説をいたします

T P P (Trans-Pacific Partnership) とは「環太平洋戦略経済連携協定」の意味。アジア太平洋での自由貿易圏の構築を目指す協定のこと。参加国間での貿易に関する関税の撤廃を原則としており、例外規定が少ない完全自由化ともいわれる。TPPIは、シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイの4カ国が締結し2006年に発効しており、2010年には当初の4カ国に加え、アメリカ、オーストラリア、ペルー、ベトナムが参加し、第1回目の協定交渉を開始している。

議会広報特別委員会から

現在の議会広報特別委員会として議会だより編集に携わって4年、一般質問要旨を掲載する紙面から、「議会は何をしているの？」の疑問に答えようと議会の動きが分かる紙面づくりを模索してきましたが「伝えたいこと」と「伝えてほしいこと」に乖離があったかもしれません。今後も議会からの情報提供不足を一步步解消し開かれた議会を目指した紙面づくりに力を入れていきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

任期内最後となります次回は、記念すべき100号発行(5月号)となります。

委員長 村山ゆかり／副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹